

# 部活動再開後の「テニス大会」について連絡

熊本県高体連テニス専門部

各学校教育活動再開を目指し、模索しながら部活動等再開に向けて考慮されている現状と思います。県高校総体中止を受け、代替大会の開催を模索し、5月16日(土)に臨時専門委員会を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、各校部活動等の制限処置が取られていることを考慮に入れた上で検討した議題と結果をお伝えいたします。

## (1) 県専門部主導による高校総体に代わる大会開催は現時点の状況では難しい

※まず、現時点で代替開催について県高体連の主催・共催が外れている以上、本専門部独自で競技施設の予約確保、新型コロナウイルス感染症拡大防止はもとより、怪我や疾病防止等の安全にまつわる保障を行う必要があります。また、大会開催費用も、補助は見込めないことを前提に検討を行いました。

### ① 6月中の開催

- 6月20日(土)、21日(日)の開催について、中止が発表されている九州大会熊本開催において使用する予定でしたコートは確保できていましたので、まずはこの両日に開催できないか考慮しました。その際、現況考慮に入れておくべきことは以下の通りでした。
  - 県営コートにおける大会開催は50名以下の規模で行うことという通達が出されています。
  - 昨年度3月から休校が続き、部活動再開も熊本市内の学校は6月8日(月)が予定されている。以後の調整では、3ヶ月練習ができていない生徒が大会参加のために調整する期間としては短すぎる。という見解により、この期間の開催は難しいという結論になりました。

### ② 7月における開催

- 県協会主催の国体2次予選、テニス講習会開催のために7月4日(土)、5日(日)もコートが確保されていました。この期間をもとに、7月中の開催を検討しました。
  - 3年生の進路に影響する1学期期末考査が控えており、また就職希望生徒の求人票も送られて来る時期であること。
  - テニス競技においては、熱中症対策もこの時期は考えておく必要があること。
  - 大学受験に関する準備が本格化を迎える時期であること。
  - 高3生が準備を行うにあたり、梅雨の時期を迎え、十分な練習時間の確保が難しいことが予想されること。
  - 7月以降の大会におけるコート確保は、新たな大会等開催の受付に関して現在不確定要素が強い。

以上等の観点から、本県の3年生「全体」がこの時期まで大会へ向けて調整を十分に行う形でテニス部活動に携わるのは難しいと考え、この期間の開催は難しいという結論になりました。

以降の時期は進学、就職ともに進路決定への動きが加速する時期である。また、練習不足による安全の保障、熱中症リスクからの安全確保という観点から、「県高校総体に代わる大会開催」は、あくまで「本競技専門部単独の判断による主導」としては、現時点では難しいという結論になりました。

## (2) 高体連事務局の動き

先日、各競技専門部から出された各競技専門部からの要望や各競技専門部で話し合った内容が県高体連事務局により集約されました。

今後の流れとしましては、県高体連事務局と県教育委員会に依って、県レベル、県高体連レベルによる代替開催の可否等について協議・検討されます。その結果を踏まえて、高体連事務局による代替大会等開催に関する指針、方針についての連絡がありますので、発表され次第、その都度高体連テニス専門部ホームページ等でも連絡し、対応していきます。

## (3) 各校の部員・保護者様・顧問の先生方へお願い

現状では、3年生が部活動に携わる時期がなくなったまま部活動からの引退を迎えることとなります。その状況は本専門部としましても本望ではありませんし、上記判断も断腸の思いでした。また、その思いは生徒の近くで寄り添ってこられた顧問の先生も同じであるとお察し申し上げる次第です。熊本で高校テニスを続けてきた高校3年生の生徒の皆さんこそ、「やっぱりテニスしたい、試合をしたい」という強い気持ちを誰よりも持っていると思います。そうした生徒に、今後どう声をかければ良いのだろうか、ということも臨時専門委員会では議題となりました。

まず、各校の部員の皆さん。今皆さんが3年生としての最後の大会を迎えることなく高校テニスを終えんとしているこの状況を、私たちが非常に辛い思いで見つめています。願わくは、これまでにテニスを練習し、試合で戦い、仲間と友情を培った貴い経験こそこれからの人生に生かして欲しいと思うばかりです。今現在、しばらくは入試や就職でテニスから離れてしまわざるを得ない状況もあるかもしれません。しかし、心の中の「テニスの灯」が消えない限りは、「生涯スポーツ」と言われるようにいくつになっても親しむことのできるスポーツです。今後、引き続き県のテニス界の発展に様々な形で寄与してくれるのであれば、これに勝る幸せはありません。近い話をすると、県テニス協会主催の大会も予定されているものがいくつかあります。開催については不透明なところがありますが、是非、そのような大会出場を目指して、練習に励み、熊本県の高校テニスを、ひいては熊本県のテニス界を支える一員になってほしいとも願っています。

保護者の皆様、お子様を一番近くで支えてこられた皆様にとりまして、お子様の頑張りの成果を発現する場を設けてあげることができないことは痛恨の極みです。安全確保、ならびに進路保障の観点を総合的に考慮しての判断であるにご賢察を賜ることができましたらありがたく存じます。上記の通り、今後また動きがある可能性があります。現時点での本専門部の精一杯を発表させて頂いていますので御理解を申し上げる次第です。

顧問の皆様、上記の県教育委員会ならびに県高体連の協議による代替大会等開催については、これも不透明ですが、今後も続報をお待ち頂ければと存じます。また、その大会の可否に関わらず、各校におかれましては、学校内での3年生送別試合や、交流が多い近隣の学校との練習試合等を、時期を見て実施していただければ大変専門部としてもありがたく存じます。各学校それぞれに他校との練習試合等の解禁などについてのガイドライン等があることと存じます。そのガイドラインに沿う形、また、部運営の方針、そして何より3年生の生徒の気持ちに寄り添う形で、3年生の「高校テニス」との「けじめ」を付ける機会を設けていただければと思います。

熊本県高体連テニス専門部より